

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立介護実習普及センター	所管課	福祉保健部 健康長寿推進課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例		
設置目的	高齢者の介護に関する知識及び技術を普及し、もって高齢者の福祉の向上を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	○延床面積 447.30 m ² (山梨県福祉プラザ1階) ・福祉用具展示室 160.05m ² ・介護実習室 142.60m ² ・事務室 29.58m ² ・調理実習室 68.75m ² ・相談室 13.20 m ² ・自助具室 13.12m ² ・倉庫 20.00m ²		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (3)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (4)高齢者の介護用機器に関する展示に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	利用者数	11,801	13,126	12,211	
	(うち受講者数)	3,379	3,508	2,807	
	利用者数合計	11,801	13,126	12,211	
	目標値	10,934	11,153	11,376	11,604
	目標値設定の考え方及びその理由	【H21～H25】 ・H20の利用想定人数を8,400人として、毎年、対前年度比5%アップを目標とする。 【H26～】 ・H25年度目標から5年後10%増を目標に、対前年比2%アップを目標とする。			
対26年度比		111.2%	103.5%		
利用率	97.1%	100.8%	80.7%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	35,639,853	35,852,538	35,852,538	36,080,242
	その他	19,000	96,000	27,500	96,000
	収入合計(A)	35,658,853	35,948,538	35,880,038	36,176,242
支出	人件費	20,981,524	20,679,348	21,615,303	20,890,285
	県への納付金				
	管理運営費	13,622,983	15,269,190	13,395,268	15,286,057
	うち外部委託費(B)				
	支出合計(C)	34,604,507	35,948,538	35,010,571	36,176,342
収支差額(A-C)		1,054,346		869,467	
外部委託比率(B÷C)					
利用者一人当たりの経費		2,715.2	3,151.6	2,936.1	3,109.3

5 利用者満足度

実施方法等	<p>実施時期：平成28年4月～平成29年3月</p> <p>実施方法：</p> <p>①テーマ別介護講座受講に関するアンケート</p> <p>②認知症サポーター養成講座受講に関するアンケート</p> <p>③介護職員研修受講に関するアンケート</p> <p>④展示に関するアンケート</p> <p>回答数：</p> <p>①211人(回収率92.1%)、②471人(回収率88.5%)、 ③541人(回収率98.4%)、④284人(回収率65.9%)</p>
--------------	--

単位：%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①講座の評価(講義)	84.1%	14.5%	1.4%	
①講座の評価(実技)	89.2%	9.5%	1.3%	
②講座の評価	72.3%	25.9%	1.1%	0.7%
③講座の評価	81.7%	17.2%	1.1%	
④展示の評価	90.4%	9.6%		
施設全般の満足度	69.0%	27.0%	3.1%	0.9%

利用者の意見	<p>(講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技が多く参考になった。 ・疑問に思っていたことや不安に感じていたことが解決できた。 ・家でも実践したい。 ・経験者の話が聞けて良かった。 ・デイサービス送迎の関係で開始時間を遅らせてほしい。 <p>(展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らないものがあり勉強になった。 ・動かして触って使い方が分かるので見学できて良かった。 ・係員の説明が分かりやすかった。 ・種類の多さに驚いた。 ・身近に障がい者、高齢者がいるので、さらに理解を深めていきたい。 ・お年寄りの方のことをよく考えている良い施設だと思った。
利用者の意見への対応	<p>・アンケートの集計結果では、満足・どちらかといえば満足という意見が多くなっているが、さらに満足度を高める必要があり、より充実した内容の講座や展示となるよう様々な工夫や内容の見直しに努める。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	見学時の電動展示品など危険を伴う機器を作動させる時には必ず職員が立会い、ケガのないように努めた。 休憩時間等の消灯など節電に努め、光熱水費の縮減を行った。	清掃、設備の点検が事業計画書どおり実施されており、安全な展示室づくりに努めている。
運営業務	講座内容によって、参加者数にばらつきがある。 介護職員向けの講座に比べ、一般県民向けの介護講座への参加者が少ない傾向にある。 一般県民の受講が増えるようなPRを進めていきたい。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。定員に届かない講座もあるため、講座内容を検討し受講者のニーズに合わせた質の高いサービスの提供に一層努めていただきたい。
利用状況	講座受講者は、前年度に比べ20.0%減少した。新規採用した講座担当職員が、一部講義に必要な資格の取得までに時間を要し、出張講座等への対応が迅速にできないケースがあったためである。 来所又は電話での介護機器・福祉用具等に関する相談の利用件数は、前年度から15.9%増加した。	利用者数は、目標値を上回ったが、前年度実績は下回っている。利用者ニーズの把握に努め、出張講座等も積極的に行い、引き続き利用者増の取り組みを行っていただきたい。
収支状況	経常的な事務費の削減など予算の効率的な執行に配慮し、健全経営に努めた。	平成28年度の利用者1人当たりの経費は2,936円で、計画より216円下回ったが、前年度に比べると221円上回った。利用者の増により利用者一人当たりの経費削減に努めていただきたい。
自主事業	移動介助等の介護技術、車椅子の操作等団体からのリクエストに対応した内容の講座を実施した。 高齢者疑似体験セット等の貸し出しや、地域包括支援センター等から協力申請があった場合におけるセンター外での介護機器・福祉用具の展示も行った。	センターの効用を高め、更なる県民サービスの向上を実現するため、ニーズに応じた事業を展開しており、計画に基づき、適正に実施されている。
利用者満足度	アンケート結果から、センター利用者の評価は概ね良かったと思われる。引き続き講座の内容、相談体制を充実させて利用者増につなげたい。	「満足」、「どちらかといえば満足」という意見が大半を占めている。 今後も利用者のニーズに沿った各種事業を進め、親切・丁寧な対応に努めていただきたい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>介護知識・技術の普及、介護機器・福祉用具の啓発及び介護に関する相談体制の強化を目標として施設運営に取り組んだところ、利用者数は12,211人となり、目標値11,376人を835人(7.3%)上回った。 具体的には、介護機器・福祉用具等に関する相談や高齢者疑似体験セットの体験者数が、関係機関と連携を図りニーズに応じたきめ細かな対応を心がけたことにより、前年度に比べ増加となった。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理・運營業務・自主事業等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。利用者数は目標値を達成し、利用者一人あたりの経費も計画から216円下回っている。一方、前年度実績と比べると、利用者数は下回り、利用者一人あたりの経費は上回っている。今後、一層の利用者の増加を図るため、関係機関と連携を図りながら、講座内容、周知方法及び実施時期等の工夫に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用者は、目標値を上回ったが、前年度実績は下回った。項目別にみると、前年度に比べ、介護機器・福祉用具等に関する相談件数等は増加しているが、講座受講者や展示室来所者は減少している。今後は、関係機関との周知連携をより深め、家族介護者及び企業・団体等などにおける新たな利用者の掘り起しなどに努め、一層の利用者数の増加を図ることとしている。</p>

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

